

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 19-253

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・研究課題名：手指衛生遵守率のモニタリングとシミュレーションテストの有効性
- ・目的：医療関連感染対策においては、医療従事者が常時、標準予防策と手指衛生の徹底による直接接触伝播予防と医療機器の除染管理による間接触伝播予防を行うことが重要である。直接・間接触伝播予防が徹底されることにより、耐性菌や感染症のアウトブレイクの防止が可能<sup>1)</sup>であると考えられている。その中でも、手指衛生は院内感染対策の基本かつ最も重要な予防策であり、手指衛生遵守率の向上は、耐性菌による院内感染率を低下させることが報告されている。

このため当院救命救急センターICU（以下 救命ICU）では、感染リンクナースが主体となって、スタッフ個人の手指衛生遵守率や消毒薬使用量の結果の提示、具体的な手指衛生場面（患者エリア入室前後や吸引操作等）を確認できるシミュレーションテストを実施している。

本研究は、スタッフ個人の手指衛生遵守率・使用量の公表（モニタリング）、シミュレーションテストを行うことで手指衛生遵守率が向上したか検討することを目的とする。

- ・研究期間：2019年11月13日～2020年3月31日
- ・研究対象：2019年4月1日～2019年9月30日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

調査項目

1) 対象

救命救急センターICU 看護師

救命救急科 常勤医師

2) 調査内容

【対象者背景】

・看護師経験年数、医師経験年数、アルコール（非アルコール製剤も）、アレルギー・手荒れの有無、シミュレーションテスト受講回数と種類（場面）

【アウトカム】

・月手指衛生遵守率（WHOの5つのタイミングに基づき部署内感染制御看護師が直接観察して算出5場面以上観察する 4場面以下の場合、その月は評価対象としない）

・MRSA新規検出率（新規検出数／のべ入院患者数×1000 当院ICTのデータを使用）。

③ 利用する者の範囲

研究責任者

救命ICU 看護師 本山 雄哉

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

研究責任者

救命ICU 看護師 本山 雄哉